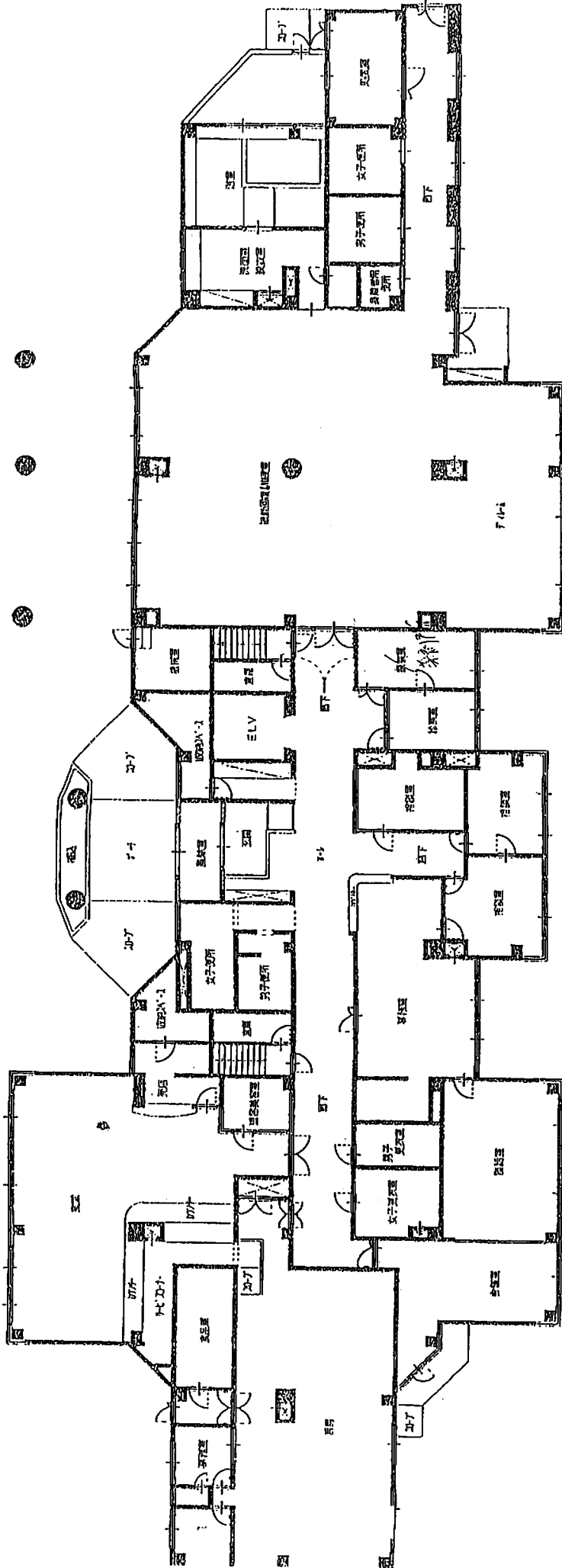


既存施設ユニットケア先進報告事例

施設名称	きのこ老人保健施設	
運営主体	社会福祉法人 新生寿会	
施設所在地	岡山県笠岡市東大戸 2912-3	
電話番号	0865-63-0700	
開設年月日	平成8年10月1日	
施設の現況	定員	入所 80名 通所 20名
	職員数	入所スタッフ 看護・介護 40名
		通所スタッフ 4名
		医師・PT等 5名 1名
	人員配置割合	2:1
概要	<p>高台のいわゆる丘の上にある軽費老人ホーム（ケアハウス）と併設し日本初の痴呆専門病院「きのこエスポアール病院」と4棟のグループホームも隣接している。</p> <p>当施設は80人を8つに分け、10人の入居者と5人のスタッフをひとつのユニットとして共に生活をしている。入居者個々の願望を聞き入れてその人らしい生活を尊重している。</p>	

<p>ユニットケアへ取り 組むきっかけ</p>	<p>・集团的流れ作業のケアに疑問を感じてどうにかしたいと考えていたとき、隣接するグループホームからヒントを得て入居者の立場から個別処遇が必要と考えた。入居者個々をより深く知るためには、1つの単位を10人が限界と考え介護職員も固定し、その人らしく生きていただくためのユニット方式を取り入れた。</p>
<p>自分たちの考えるユ ニットケア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の自発性・自主性を育み、職員の成長を目指す。組織のトップダウンからボトムアップを図る。</li> <li>・ 職員主体のケアから入居者主体のケアへ、そして入居者への集団ケアから家庭的個別ケアへ目指す。入居者個々を尊重するケア・かかわるケアがユニットケア。</li> <li>・ 入居者個々の生活を再現し、職員と共に生活する環境作りを目指す。</li> </ul>
<p>改修前の施設配置図</p>	<p>別紙1のとおり</p>
<p>現状の施設配置図</p>	<p>別紙2のとおり</p>
<p>居室の状況及び設置 する設備・備品</p>	<p>ベット、タンス、間仕切り、写真等</p>
<p>リビングルームの状 況及び設置する設 備・備品</p>	<p>キッチン、食器棚、食卓テーブル、ソファ、絵画、テレビ、</p>
<p>職員に対する研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリデーシオンに基づくコミュニケーション研修 (講義内容は自分のコミュニケーション方法を撮影したビデオ内容について6名にてディスカッションを3日間する。)</li> <li>・ 笠岡市介護相談員等の外部者からの意見聴取。</li> <li>・ 外部研修会等での発表・参加。</li> <li>・ 施設内での勉強会。</li> <li>・ 内部報による伝達。</li> </ul>

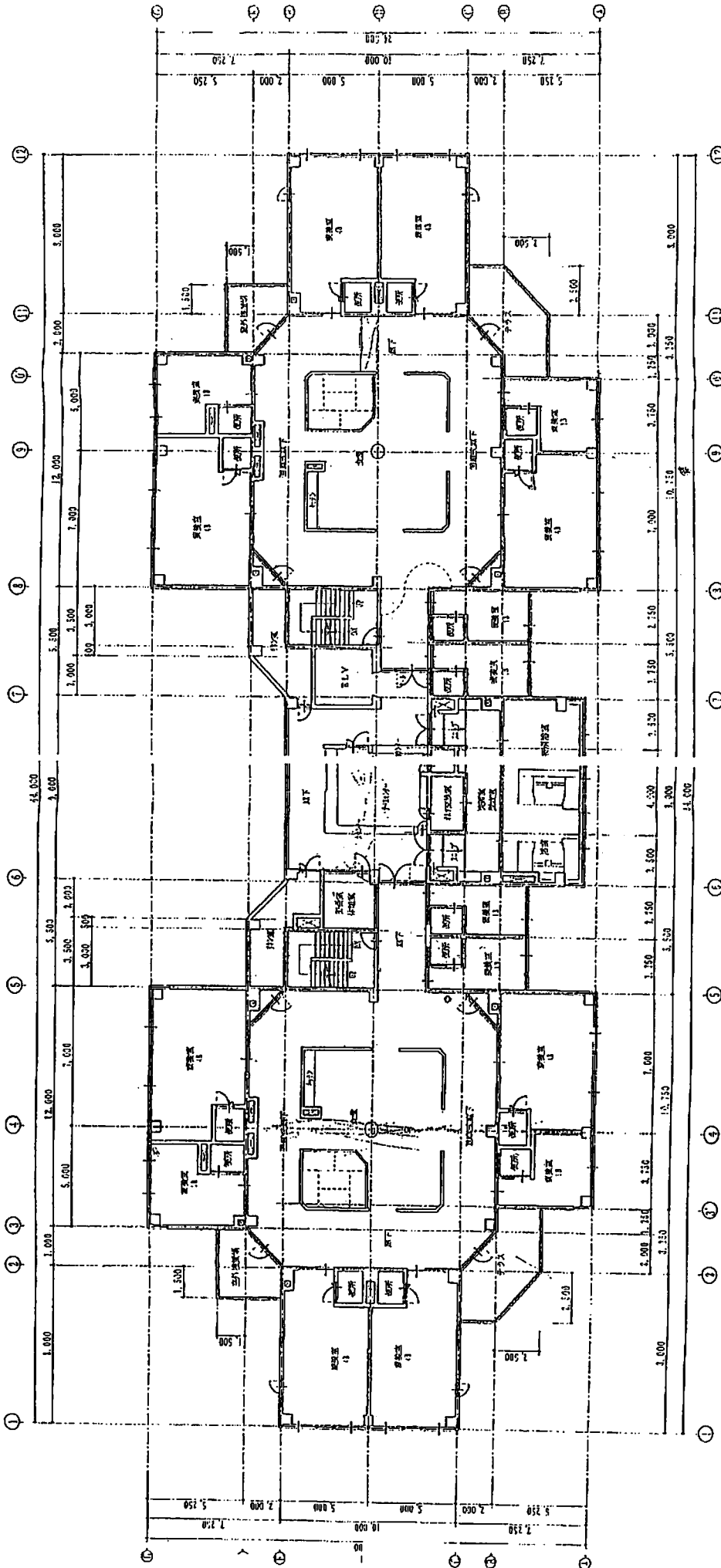
変更なし



老人保健施設1F



變更前(別紙1)



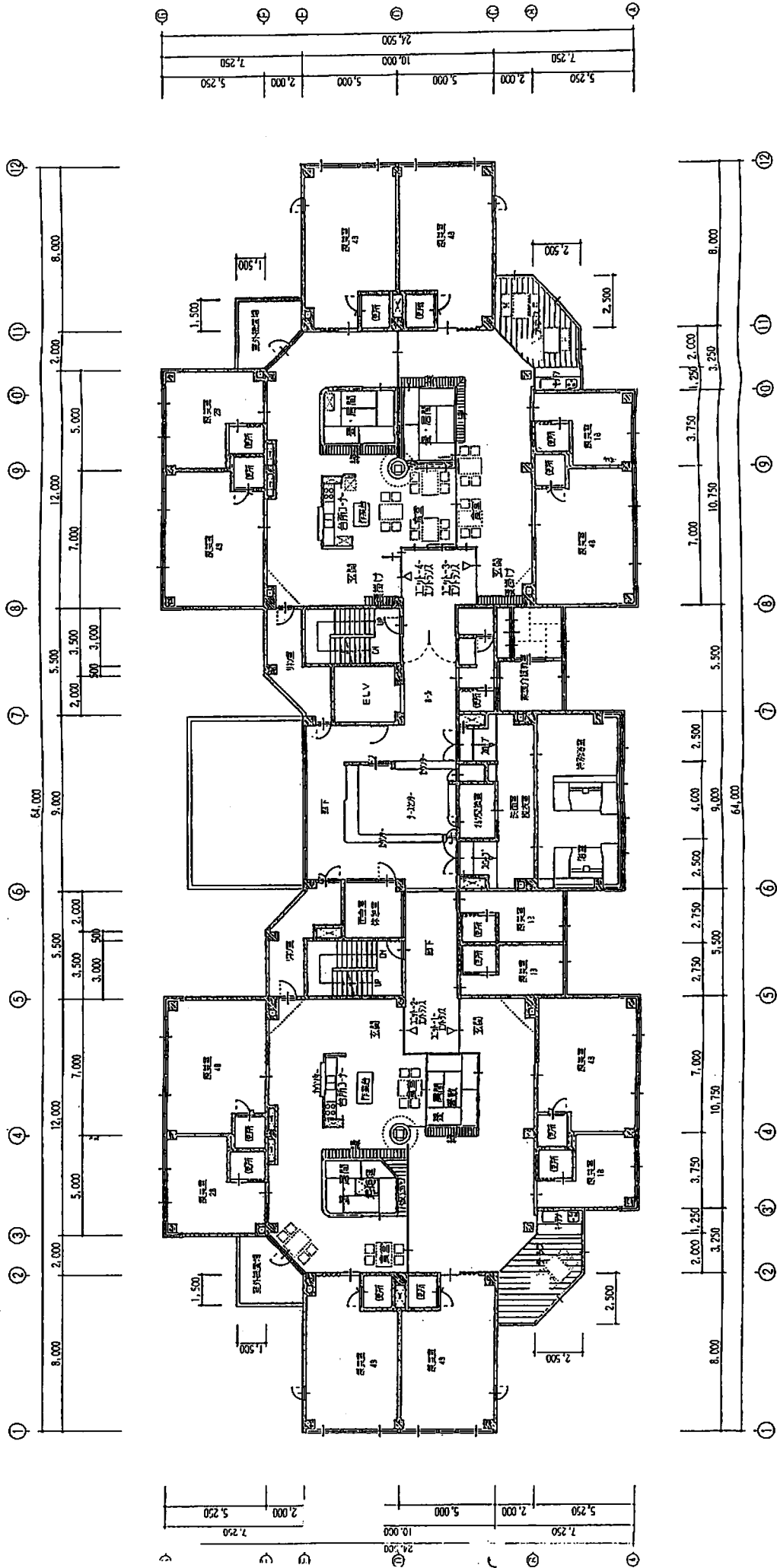
3樓 平面圖 1:200

変更後(別紙ニ)

老人保健施設

老のこ老人保健施設 改修工事 (ユニット・ケアハステップ-1-)

NO-002



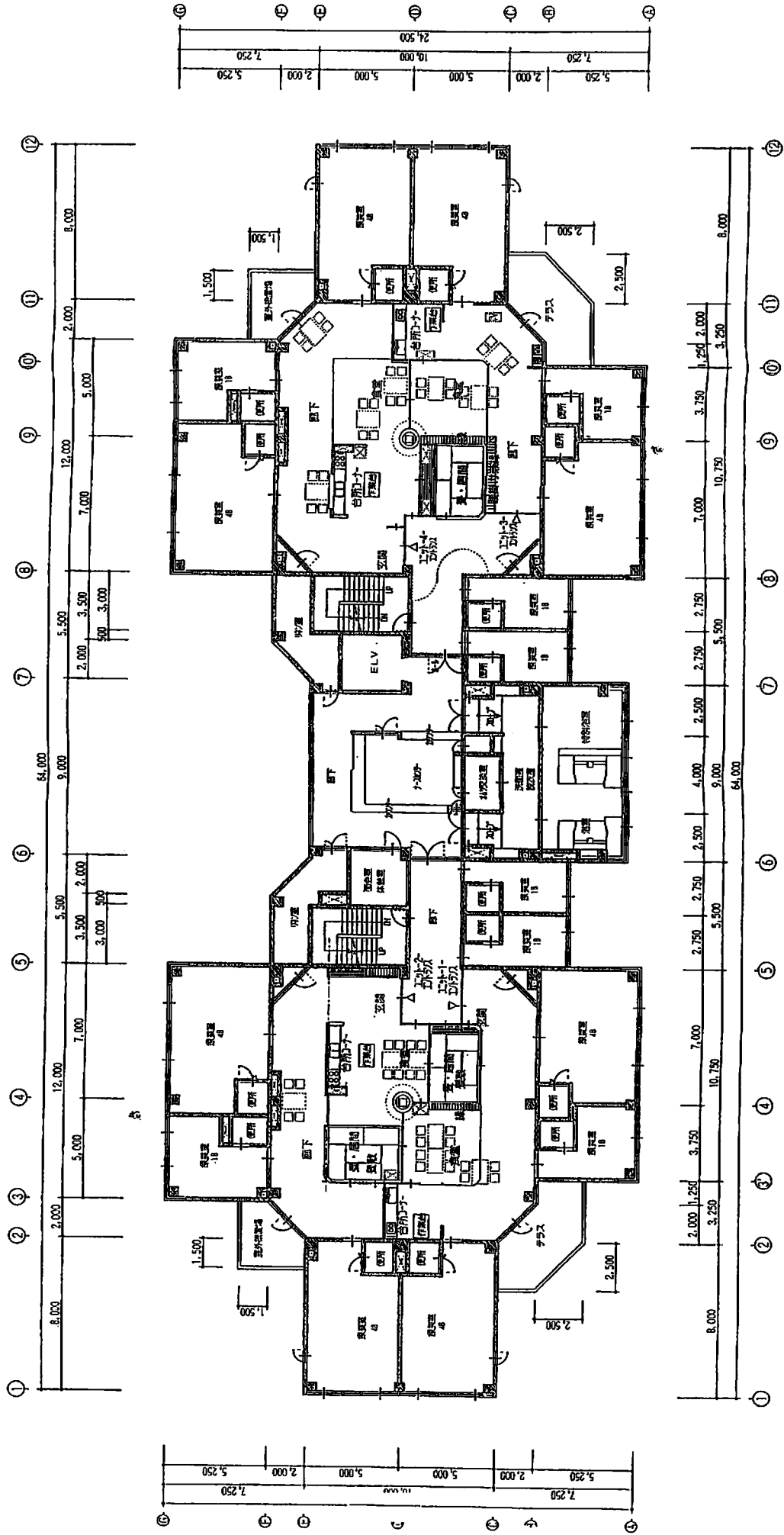
改修2階平面図 1:200

(有限会社) 創持建築設計事務所

変更後(別紙ニ)

このこ老人保健施設 改修工事 (ユニット・ケアへステップーIー)

NO-002



改修3階平面図 - I - 1:200

(有限会社) 創持建築設計事務所